

大学番号：国012

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

秋田大学 教育文化学部 地域文化学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 秋田大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教育文化学部

職名・氏名 総括主査（総務担当）・柳谷 勉 ヤオギヤ ツトム

電話番号 018-889-2503

（夜間） 018-889-2503

F A X 018-833-3049

e-mail kyosou@jimu.akita-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

教育文化学部

<地域文化学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況, 経費	27
4. 既設大学等の状況	28
5. 教員組織の状況	31
6. 留意事項に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

(2) 大学名

秋田大学

(3) 大学の位置

〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

該当なし

()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合 (平成27年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
教育文化学部 地域文化学科 学士 (地域文化)	4年	100人	年次 人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100 () [若干名]	—	100 () [若干名]	—	() []	()	() []	()	1.02倍	一倍	
志願者数	340 () [4]	— () [—]	356 () [5]	— () [—]	() []	() []	() []	() []			
受験者数	242 () [4]	— () [—]	273 () [5]	— () [—]	() []	() []	() []	() []			
合格者数	106 () [1]	— () [—]	107 () [1]	— () [—]	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	103 () [1]	— () [—]	102 () [1]	— () [—]	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.03		1.02								

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**で記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学 (「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学) のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 103	[-] (-) -	[1] (-) 102	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[]	[]	
2年次	/		[1] (-) 102	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/				[] ()	[] ()			
計			[1] (-) 103	[1] (-) 204	[] ()	[] ()			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	103 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	1.0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	102 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		— %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		— %
合 計	205 人	1 人					0.5 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育文化学部 地域文化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	初年次ゼミ	1前	2			16	15 17	5	4			教員の採用・退職による変更(27) 教員の採用・退職による変更(26)
	教養ゼミナール1(現代社会)	1・2前後		1		1						兼1 担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
	教養ゼミナール2(現代社会)	1・2前後		2		1						兼1 担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
	くらしと法	1・2前後		2					1			前後期にそれぞれ開講
	日本国憲法	1・2・3・4前後		2		1			1			担当教員(教授)が退職したため1名減員(27) 前後期にそれぞれ開講
	現代社会と法	未開講 1・2前		2		1						教員が退職したため27年度未開講(27) 隔年
	現代社会と経済Ⅰ	1・2・3・4前 1・2・3・4前後		2					1			カリキュラムの調整を行ったため開講期変更(27) 経済を専門とする新規着任教員の科目を追加(26)
	現代社会と経済Ⅱ											現代社会と経済Ⅰの追加による科目名の変更(26)
	現代社会と経済	1・2・3・4前		2		1						担当教員を他学部教員に変更(26)
	現代社会と経済Ⅲ	1・2・3・4後		2								教育課程の充実を図るため科目を追加(27) 平成27年10月の授業に向け学内で選考中
	現代社会と政治	1・2・3・4前後		2					1			政治学・行政学を専門とする新規着任教員の科目を追加(26)
	マクロ経済学入門	1・2・3・4前 1・2前		2				1				高年次学生も履修できる内容とするため配当年次変更(26)
	日本と諸外国の政治Ⅰ	1・2・3・4前		2								兼1
	日本と諸外国の政治Ⅱ	1・2・3・4後		2								兼1
	国際政治経済	1・2・3・4前		2								兼1
	大学生活と学習	1・2・3・4前		2								兼1
	社会と家族	1・2後		2				1				
	倫理リテラシー	1前		2								兼1 兼3 オムニバス方式から倫理学を専門とする教員の単独開講変更(26) オムニバス
	男女共同参画社会論	1・2・3・4後		1		1						
	フィールド情報学入門	1・2・3・4前		2								兼1 授業内容が「現代社会」に該当するため科目区分を変更(26)
	教養ゼミナール1(人間と文化)	1・2前後		1		1						兼1 担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
教養ゼミナール2(人間と文化)	1・2前後		2		1						兼1 担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講	
心理学Ⅰ	未開講 1前		2				1				担当教員が海外派遣中のため27年度未開講(27)	
心理学Ⅱ	1・2後		2		1	2 1		1			カリキュラム編成調整による担当教員の変更(27) 平成27年10月の授業に向け学内で選考中	
人間関係論Ⅰ	1・2・3・4前		2								兼1 昇任による職名の変更(26)	
人間関係論Ⅱ	1・2・3・4後		2								兼1	
文学論	1・2・3・4後		2		1							
日本の近代文学	1・2後		2				1					

日本語表現の諸相	1・2後	2	1					
日本の古典文学	1・2前	2	1					
教育学Ⅰ	1前	2	1					
教育学Ⅱ	1・2後 1・2前	2	1		1			保育士資格取得希望者に受講させるため開講期を変更(26) 新規着任教員を追加(26)
芸術と文化Ⅰ	未開講 1・2前	2		1				教員が退職したため27年度未開講(27) 教員が退職したため26年度未開講(26)
芸術と文化Ⅱ	未開講 1・2後	2		1				教員が退職したため27年度未開講(27) 教員が退職したため26年度未開講(26)
芸術と文化Ⅲ	1・2前後	2		1				前後期にそれぞれ開講
情報デザイン入門	1・2・3・4前	2		1				
倫理と人間	1前	2		1				
欧米の歴史	未開講 1・2前	2			1			担当教員が海外派遣中のため27年度未開講(27)
科学史・科学哲学	1・2前	2		1				
障害と共生Ⅰ	未開講 1・2前	2		1				カリキュラム編成調整により27年度未開講(27) カリキュラム編成調整により26年度未開講(26)
障害と共生Ⅱ	1・2・3前	2		1				
人権と共生	1・2・3・4後	1					兼1	
多文化コミュニケーション入門Ⅰ	未開講 1・2前	2					兼1	教員が育児休業取得のため27年度未開講(27)
多文化コミュニケーション入門Ⅱ	1・2後	2					兼1	
多文化間交流論Ⅰ	1・2前	2					兼1	
多文化間交流論Ⅱ	1・2後	2					兼1	
日本文化入門Ⅰ	1・2前	2					兼1	
日本文化入門Ⅱ	1・2後	2					兼1	
日本社会入門Ⅰ	1・2前	2					兼1	
日本社会入門Ⅱ	1・2後	2					兼1	
日本語教育学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2					兼1	
日本語教育学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2					兼1	
教養ゼミナール1(科学の探究)	1・2前後	1		1			兼1	担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
教養ゼミナール2(科学の探究)	1・2前後	2		1			兼1	担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
自然環境と資源Ⅰ	1前・後 1前	2		1				履修希望者が多いため開講期を追加(26)
自然環境と資源Ⅱ	1・2前 1後	1			1			カリキュラム編成調整による開講期及び配当年次の変更(27)
天体観測入門	1前	1		1				
地球の環境と資源Ⅰ	1・2・3・4前	2					兼3	オムバス
地球の環境と資源Ⅱ	1・2・3・4前	1					兼4	オムバス
環境と社会	1・2・3・4前後	1					兼7 兼6	オムバス 前後期にそれぞれ開講
ライフサイエンスⅠ	1前	2			1			
ライフサイエンスⅡ	1・2前後 1前後	1			1			履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(27) 前後期にそれぞれ開講
衣生活の科学	未開講 1・2前 1前	2		1				教員の退職により27年度未開講(27) 履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
化学の世界	1・2・3・4前	1					兼2	オムバス
材料の世界	1・2・3・4前	1					兼3	オムバス
情報工学の世界	1・2・3・4前	1					兼7	オムバスで開講するため(26)

コンピュータの科学	1・2前後	2	1	1			前後期にそれぞれ開講
星の世界	1・2後 1→2前	2	1				カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(26)
自然環境と住まい	1・2後 1後	2		1			履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
資源循環と科学	1・2・3・4前	1					兼8 オムバス
教養ゼミナール1(生活と保健)	1・2前後	1	1				兼1 担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
教養ゼミナール2(生活と保健)	1・2前後	2	1				兼1 担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
食と健康	1・2・3・4前	2	1	1			昇任による職名(教授1名)の変更(27)
医学と健康I	1・2・3・4前後	1					兼1 カリキュラム編成調整による担当教員の変更(27) 兼4 オムバス 前後期にそれぞれ開講
医学と健康II	1・2・3・4前 後 1→2・3・4前	1					兼4 履修の選択肢を増やすため開講期を追加(27) 兼8 カリキュラム編成調整による担当教員の変更(27) 兼7 内容の充実を図るため担当教員を追加(26) オムバス
医学と健康III	1・2・3・4後 1→2・3・4前 後	2					兼8 内容の充実を図るため担当教員を追加(26) 兼6 オムバス カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(26) 前後期にそれぞれ開講
医学と健康IV	1・2・3・4前	2					兼15 内容の充実を図るため担当教員を1名追加(27) 兼14 オムバス
がん医療と緩和ケア	1・2・3・4後	2					兼6 教員の退職による担当教員1名減員(27) 兼7 オムバス
大学生と健康	1・2・3・4前後	2					兼6 カリキュラム編成調整による担当教員の変更及び1名減員(27) 兼7 オムバス 前後期にそれぞれ開講
生命と健康I	1・2・3・4前	1					兼4 カリキュラム編成調整による担当教員の変更及び1名減員(27) 兼5 オムバス
生命と健康II	1・2・3・4前	1	1				兼4 オムバス
がん治療	1・2・3・4前	2					兼3 カリキュラム編成調整による担当教員1名減員(27) 兼4 オムバス
外科手術と手術機器の進化	1・2・3・4後	2					兼4 オムバス
教養ゼミナール1(地域社会)	1・2前後	1	1				兼1 担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
教養ゼミナール2(地域社会)	1・2前後	2	1				兼1 担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
社会と地域	1・2前後	2		1			前後期にそれぞれ開講
地理と地誌I	1・2・3・4前 1→2前	2	1				履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
地理と地誌II	1・2・3・4前	2	1	1			昇任による職名(教授1名)の変更(27)
地域と食文化	1・2後	2	1				
秋田の歴史	1・2・3・4前	1	1				
秋田の自然と文化	1・2・3・4前後	1	1	1			兼8 内容の充実を図るため担当教員1名追加(27) 兼7 オムバス 前後期にそれぞれ開講
防災学基礎I	1・2・3・4前 1→2前	1					兼1 履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
防災学基礎II	1・2・3・4前 1→2前	1					兼1 履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
教養ゼミナール1(技能の活用)	1・2前後	1	1				兼1 担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講

教養ゼミナール2 (技能の活用)	1・2前後	2	4				兼1	担当教員を他学部教員に変更(26) 前後期にそれぞれ開講
日本語リテラシー I	1・2・3・4前	2	2				兼1	オムバス 内容の充実を図るため担当教員を追加(26)
日本語リテラシー II	1・2後	2					兼3 兼4 兼3	カリキュラム編成調整による担当教員1名減員(27) 内容の充実を図るため担当教員を追加(26) オムバス
コミュニケーショントレーニング	1・2前	1					兼1	
秋田大学論	1・2・3・4後	1	4				兼1	担当教員を他学部教員に変更(26)
情報と知識・技術 I	1・2・3・4前後	1					兼1	前後期にそれぞれ開講
情報と知識・技術 II	1・2・3・4前	1					兼1	
フィールド情報学入門	1・2・3・4前	2					兼1	授業内容が「現代社会」に該当するため科目区分を変更(26)
キャリアデザイン基礎	1後	1					兼1	
キャリアデザイン I	2前	1					兼1	
キャリアデザイン II	2前	1					兼1	
キャリアデザイン総論	未開講 2後	2					兼1	教員が退職したため27年度未開講(27)
留学生のための課題研究 I	1・2・3・4後 1・2・3・4前	2					兼1	留学生の入学時期に合わせて開講期を変更(26)
留学生のための課題研究 II	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2					兼1	留学生の入学時期に合わせて開講期を変更(26)
海外短期研修	1・2後	2					兼1	集中
鉱業博物館業務体験	1・2・3・4通年	1					兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27) 集中
「起業力」養成ゼミナール	1・2・3・4前	2					兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
大学英語 I	1前	2		3 2 1		2 1	兼2 兼5	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(27) 担当教員の変更(26)
大学英語 II	1後	2		2 1	1	1	兼3 兼4	担当教員を専任教員に変更(26)
ドイツ語 I	1前	2		1			兼1	
フランス語 I	1前	2			1			
ロシア語 I	1前	2		1				
中国語 I	1前	2			1		兼3	複数クラス開講するため担当教員を追加(26)
朝鮮語 I	1前	2			1			
日本語 1	1・2・3・4前後	4					兼2 兼1 兼2	カリキュラム編成調整による担当教員1名増員(27) 教員の退職による教員数の変更(26) 前後期にそれぞれ開講
文系英会話	1・2後	2					兼3 兼2	英語特別演習と関連する科目のため担当教員を追加(26)
理系英会話	2前	2					兼1	
大学英語 III	2前	2		3 2	1 2	1	兼6 兼5	クラス数を増やしたことによる担当教員の追加・変更(26)
英語特別演習	1・2前	2					兼2 兼1	英語能力育成のため母語話者教員を追加(26)
ドイツ語 II	1後	2		1				
フランス語 II	1後	2			1			
ロシア語 II	1後	2		1				
中国語 II	1後	2			1	1		新たに教員が着任したことによる担当教員の変更(26)
朝鮮語 II	1後	2			1		兼1	異文化理解のため韓国・朝鮮の文化に精通した教員に変更(26)
日本語 2	1・2・3・4前後	4					兼3 兼2	教員の育児休業取得による担当教員の追加(27)
日本語 2 総合	1・2・3・4前後	1					兼1	前後期にそれぞれ開講
ドイツ語会話 I	1前	1					兼1	前後期にそれぞれ開講

ドイツ語会話Ⅱ	1後	1						兼1	
フランス語会話Ⅰ	1前	1						兼1	
フランス語会話Ⅱ	1後	1						兼1	
ロシア語会話Ⅰ	1前	1		1				兼1	母語話者教員の指導による授業を行うため担当教員を変更(26)
ロシア語会話Ⅱ	1前 1後	1		1				兼1	非常勤講師との日程調整により開講期を変更(26) 集中 母語話者教員の指導による授業を行うため担当教員を変更(26)
中国語会話Ⅰ	1前	1						兼1	
中国語会話Ⅱ	1後	1						兼1	
朝鮮語会話Ⅰ	1前	1			1			兼1	母語話者教員の指導による授業を行うため担当教員を変更(26)
朝鮮語会話Ⅱ	1後	1			1			兼1	母語話者教員の指導による授業を行うため担当教員を変更(26)
実践ドイツ語会話Ⅰ	2前	1						兼1	
実践ドイツ語会話Ⅱ	2後	1						兼1	
実践中国語会話Ⅰ	2前	1						兼1	
実践中国語会話Ⅱ	2後	1						兼1	
実践朝鮮語会話Ⅰ	2前	1			1			兼1	母語話者教員の指導による授業を行うため担当教員を変更(26)
実践朝鮮語会話Ⅱ	2後	1			1			兼1	母語話者教員の指導による授業を行うため担当教員を変更(26)
日本語3	1・2・3・4前後	4						兼2	前後期にそれぞれ開講
日本語3総合	1・2・3・4前後	1						兼1	前後期にそれぞれ開講
社会心理学外国語文献演習	2・3後 2・3前	1			1	1			臨床心理学外国語文献演習と開講期を相互交換(26) 昇任による職名の変更(26)
臨床心理学外国語文献演習	未開講 2・3前 2・3後	1		1					教員が退職したため27年度未開講(27)
生理心理学外国語文献講読Ⅰ	未開講 2・3・4前 1前	1			1				隔年 担当教員が海外派遣中のため27年度未開講(27) 高年次向けの内容とするため配当年次変更(26)
生理心理学外国語文献講読Ⅱ	未開講 2・3・4前 1前	1			1				隔年 担当教員が海外派遣中のため27年度未開講(27) 高年次向けの内容とするため配当年次変更(26)
発達心理学外国語文献演習	2・3・4前 3前	1		1					高年次向けの内容とするため配当年次変更(26)
認知心理学外国語文献演習	2・3・4後 3後	1		1					履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
科学教育文献講読	2・3・4後	2		1					英語で科学に関する文献を読み解く力をつけさせるため開講(26)
日本語4-I	1・2・3・4前	2						兼2 兼4	内容の充実を図るため担当教員を1名追加(27)
日本語4-II	1・2・3・4後	2						兼2 兼4	内容の充実を図るため担当教員を1名追加(27)
日本語4-III	1・2・3・4前	2						兼1	
日本語4-IV	1・2・3・4後	2						兼1	
日本語4-V	1・2・3・4前	1						兼1	
日本語4-VI	1・2・3・4後	1						兼1	
日本語5-I	1・2・3・4前	1						兼1	
日本語5-II	1・2・3・4後	1						兼1	
日本語5-III	1・2・3・4前	1						兼1	
日本語5-IV	1・2・3・4後	1						兼1	
日本語5-V	1・2・3・4前	1						兼1	
日本語5-VI	1・2・3・4後	1						兼1	
日本語5-VII	1・2・3・4前	1						兼1	
日本語5-VIII	1・2・3・4後	1						兼1	

	日本語 5 - IX	1・2・3・4前		1					兼1	
	日本語 5 - X	1・2・3・4後		1					兼1	
	スポーツ実技 I	1前		1		4	2		兼5 兼4	カリキュラム編成調整による担当教員の変更のため1名増員(27)
	スポーツ実技 II	2前		1		3	1		兼5 兼4	カリキュラム編成調整による担当教員の変更のため1名増員(27)
	スポーツ理論 I	1後		2		4 5	2		兼1	担当科目の変更(26)
	スポーツ理論 II	1後		1		3 5 4	1 2		兼1	カリキュラム編成調整による担当教員の変更のため3名減員(27) 担当教員を本学教員に変更(26)
基礎 教育 科目	教育の理念	1後		1		1				教職課程の科目として開講(26)
	教育の歴史	1後		1		1				教職課程の科目として開講(26)
	人間形成論 I - 1	1前		1			1 1		兼1	担当教員の変更(27) 専任教員が離職し非常勤講師が担当するため変更(26) 集中
	人間形成論 I - 2	1前		1			1 1		兼1	担当教員の変更(27) 専任教員が離職し非常勤講師が担当するため変更(26) 集中
	人間形成論 II - 1	1後 1前		1		1			兼1	カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(26) 専任教員が離職し他部局教員が担当するため変更(26)
	人間形成論 II - 2	1後 1前		1		1			兼1	カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(26) 専任教員が離職し他部局教員が担当するため変更(26)
	人間形成論 III - 1	1後		1		1	1			担当教員の変更(26)
	人間形成論 III - 2	1後		1		1	1			担当教員の変更(26)
	教育経営論	1前		1		1				教職課程の科目として開講(26)
	教育制度論	1前		1		1				教職課程の科目として開講(26)
	教育行政論	2前 2後		1		1				カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27) 教職課程の科目として開講(26)
	情報処理入門	1前	2			2	1			
	生涯学習論	1後		2		1	1			昇任による職名の変更(27)
	生涯発達心理学 I	1・2前 2前		2		1				履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
	生涯発達心理学 II	1・2後 2後		2		1				履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
	生涯発達心理学 III	1・2前		2		1	1			担当教員の変更(26)
	英語活用法 I	2前		1		2				
	英語活用法 II	2後		1		2				
	ドイツ語活用法 I	2前		1		1				
	ドイツ語活用法 II	2後		1		1			兼1	担当教員の変更(27)
フランス語活用法 I	2前		1			1				
フランス語活用法 II	2後		1			1				
ロシア語活用法 I	2前		1		1					
ロシア語活用法 II	2後		1		1					
中国語活用法 I	2前		1			1				
中国語活用法 II	2後		1			1				
朝鮮語活用法 I	2前		1			1		兼1	担当教員の変更(27)	
朝鮮語活用法 II	2後		1			1		兼1	担当教員の変更(27)	
秋田学基礎	1前	2			2	1				オムニバス 教員の採用・退職・昇任による変更(27)
地域学基礎	1通	2			16	22	1	5		共同、※実習 教員の採用・退職による変更(26)
地域資源活用論	1, 2後		2			1				

専門教育科目	地域振興論基礎	1,2後		2		1	4	1			担当教員の変更・追加(26)	
	地域統計学基礎	1後	2			1						
	地域統計技法 A・B	2前		2		1	1					
	外国語発展演習Ⅰ	3,4前		2		2	3					
	外国語発展演習Ⅱ	3,4後		2		2	3					
	外国語発展演習Ⅲ	3,4前		2		2	3					
	外国語発展演習Ⅳ	3,4後		2		2	3					
	法学概論	1後		2				1				
	経済学概論	1後		2				1				教員の変更・昇任による変更(27)
	地域生活学概論	1前		2		2	4	2		兼1	オムニバス	
地域社会学概論	1前		2				1					
生態学概論	1前		2				1					
		1後										
情報科学概論	1前		2			1					カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(26)	
情報発信技法	1後		2			1						
心理学概論	1後		2			1	2					
日本文化基礎論	1前		2			4			兼1	オムニバス		
国際文化理解	1後		2			6	5				オムニバス	
						1						
芸術文化論	1前		2				2				オムニバス 担当教員追加(26)	
地域社会基礎ゼミ	2前	1				6	10	1			共同、※実習	
地方自治法	未開講 2,3前		2			4					教員が退職したため27年度未開講(27)	
								1				
政治学概論	2,3後		2				4				担当教員の変更(26)	
								1				
地方自治論	2,3前		2				4				担当教員の変更(26)	
								1				
マクロ経済学概論	2,3前		2				4				担当教員の変更(26)	
ミクロ経済学概論	2,3後	2							1		公共政策領域の授業科目の拡充を図るため、科目を追加(27)	
公共政策学概論	2,3前		2				1					
国際経済論	2,3前		2				1					
環境計画論	2,3後		2				1					
社会学概論	2,3前		2				1					
社会学	2,3後		2				1					
環境社会学	2,3後		2				1					
芸術・文化と社会	2,3前		2				1					
住環境科学Ⅰ(環境共生住居論)	未開講 2,3前		2				1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27) ※実習	
住環境科学Ⅱ(住環境と健康)	2,3後		2				1				※実習	
									兼1			
衣生活素材論	2,3前		2			4					教員の変更による変更(27)	
									兼1			

衣生活消費論	未開講 2,3後	2	1						教員の退職による変更(27) 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
地域食品健康論	2,3後	2	1						教員の昇任による変更(27)
健康栄養学	2,3前	2	1						教員の昇任による変更(27)
食生活論	2,3後 2,3前 2,3前	2							兼1 カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
食生活環境論(地域と食文化)	2,3後	2							兼1 カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27) 兼1
消費者教育論	2,3前	2						1	担当教員の変更(26)
地域マーケティング論	未開講 2,3後 2,3前	2							兼1 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
地誌学概論	2,3後	2	1						カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
現代社会論	2,3後	2					1		
社会調査論	2,3前	2						1	
地域づくり論	2,3後 2,3前	2							カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27) 担当教員の変更(26)
自然環境論	2,3後 2,3後	2							教員の昇任による変更(27)
自然地理学概論	2,3前	2							カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
人文地理学概論	2,3前	2	1					1	担当教員の変更(27)
メディアリテラシー	2,3後 2,3前	2							
プレゼンテーション技法	2,3後	2	1						カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
情報化社会論	2,3後 2,3前	2							1
地域情報処理	2,3後 2,3前	2	1						カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
コミュニケーション心理学演習	2,3後	2	1						カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
教育臨床概論Ⅰ	3後	2							兼1 複数担当から単独担当へ変更(26)
教育臨床概論Ⅱ	3前	2							1
学科内自由選択科目	2,3,4	4							
人間文化基礎ゼミ	2前	1			10	10			共同
環境歴史学概論	2,3前	2			1				
日本国家史論	2,3後	2			1				
日本史概論	2,3後	2			1				
交通文化史論	2,3前 2,3後	2			1				
地域文化概論	2,3前 2,3前	2			1				カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27) ※実習
地域文化論演習	2,3後	2			1				カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
古典文学概論	2,3後	2			1				
日本文学概論	2,3前	2							兼1

日本文学論	2, 3後	2						兼1
日本語学概論	2, 3前	2	1					
日本語文化論	2, 3前	2	1					
言語学概論	2, 3前	2	1					
言語コミュニケーション概論	2, 3前	2	1					
東洋史概論	2, 3後	2		1			1	
中国社会文化概論	2, 3前	2		4				担当教員の変更(26)
韓国朝鮮研究入門	2, 3前	2		1				
西洋史概論	2, 3前	2		1				カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
西洋国家史論	2, 3後	2		1				
倫理学概論	2, 3前	2	1					
西洋思想論(ヘブライズム)	2, 3前	2	1					
哲学概論	2, 3前	2	1					
地域比較文化論	2, 3前	2	1					
言語文化論 I	未開講 2, 3後	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
言語文化論 II	2, 3前	2		1				
英語圏現代文化論	2, 3後	2		1				
表象文化論	2, 3前	2	1					カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
映像文化論 I	2, 3後	2		1				
映像文化論 II	2, 3後	2		1				
芸術・文化と社会	2, 3前	2		1				
芸術学概論	2, 3後	2		1				
美術概論	2, 3前	2		1				
音楽学概論	2, 3後	2						カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
音楽文化論	2, 3前	2		4				兼1 担当教員の変更(26)
音楽文化論	2, 3後	2		4				兼1 担当教員の変更(26)
学科内自由選択科目	2, 3, 4	4						
行政法 I	未開講 2, 3, 4前	2	4					教員が退職したため27年度未開講(27)
行政法 II	未開講 2, 3, 4後	2	4					教員が退職したため27年度未開講(27)
行政法 III	3, 4前	2	1					
法律学判例演習 I(行政法)	3, 4前	2	1					
法律学判例演習 II(行政法)	3, 4後	2	1					
環境法	2, 3, 4後	2				1		
民法 I	2, 3, 4前	2				1		
民法 II	2, 3, 4後	2				1		
民法 III	3, 4前	2				1		
法律学判例演習 III(民法)	3, 4前	2				1		
法律学判例演習 IV(民法)	3, 4後	2				1		
行政学 I	2, 3, 4前	2		4				担当教員の変更(26)

行政学Ⅱ	2, 3, 4後	2			1			担当教員の変更(26)
現代政治演習Ⅰ	3, 4前	2			1			担当教員の変更(26)
現代政治演習Ⅱ	3, 4後	2			1			担当教員の変更(26)
ミクロ経済学Ⅰ	2, 3, 4後	2			1			担当教員の変更(26)
	3, 4前				1			時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
ミクロ経済学Ⅱ	2, 3, 4前	2			1			担当教員の変更(26)
マクロ経済学	2, 3, 4後	2			1			担当教員の変更(26)
金融論Ⅰ	2, 3, 4前	2			1			公共政策領域の授業科目の拡充を図るため、科目を追加(27)
金融論Ⅱ	3, 4後	2			1			公共政策領域の授業科目の拡充を図るため、科目を追加(27)
経済学演習Ⅰ	3, 4前	2			1			担当教員の変更(26)
経済学演習Ⅱ	3, 4後	2			1			担当教員の変更(26)
経済学演習Ⅲ	3, 4前	2			1			公共政策領域の授業科目の拡充を図るため、科目を追加(27)
経済学演習Ⅳ	3, 4後	2			1			公共政策領域の授業科目の拡充を図るため、科目を追加(27)
公共政策学	2, 3, 4後	2			1			
環境政策演習Ⅰ	3, 4前	2			1			
環境政策演習Ⅱ	3, 4後	2			1			
社会学演習Ⅰ	3, 4前	2			1			
社会学演習Ⅱ	3, 4後	2			1			
社会データ分析	2, 3, 4後	2		1				
	3, 4前				1			時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
公共政策外国書講読(政治学)	2, 3, 4前	2			1			担当教員の変更(26)
	3, 4前							
公共政策外国書講読(社会学)	2, 3, 4前	2			1			時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
	3, 4前							
公共政策外国書講読(環境政策)	2, 3, 4前	2			1			時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
生活科学基礎ゼミⅠ	2後	2		1	2			兼1 共同 教員の退職・昇任による変更(27)
生活科学基礎ゼミⅡ	3前	2		1	2			兼1 共同 教員の退職・昇任による変更(27)
衣生活実践論	未開講 2, 3, 4後	2		1				兼1 教員の退職による変更(27) 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
食生活資源論	2, 3, 4後	2						兼1
住居学概論	2, 3, 4前	2			1			※実習
子どもの食と栄養	2, 3, 4前	2		1	1			教員の昇任による変更(27)
栄養生化学特論	3, 4前	2		1	1			教員の昇任による変更(27)
家庭経営学	2, 3, 4後	2						兼1
	2, 3, 4前							
ジェンダー論	2, 3, 4後	2						兼1 カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)

家庭電気・機械	2, 3, 4前	2						兼1
衣生活実験・演習Ⅰ（素材・物性実験）	未開講 2-3後	2	1					兼1 教員の退職による変更(27) 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
衣生活実験・演習Ⅱ（消費科学実験）	3, 4後	2	1					兼1 教員の退職による変更(27)
食生活実験・演習Ⅰ（地域食材の調理実習）	2, 3, 4前	2						兼1
	2, 3, 4前							
食生活実験・演習Ⅱ（調理科学実験）	2-3, 4後	2						兼1 カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
住生活調査・演習Ⅰ（冬季・室内環境）	2, 3後	2		1				
住生活調査・演習Ⅱ（夏季・地域環境）	3, 4前	2		1				
	2, 3, 4後							
地域食資源活用実験・演習	2-3, 4前	2	1	1				カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27) 教員の昇任による変更(27)
	2, 3, 4前							カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
健康栄養学実験・演習	2-3, 4後	2	1	1				教員の昇任による変更(27)
	2, 3, 4後							カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
家庭経営学演習	2-3, 4前	1		1				兼1 複数担当から単独担当へ変更(26)
被服学	2, 3, 4前	2		1				兼1 ※実習 複数担当から単独担当へ変更(26)
福祉社会論	2, 3, 4前	2		1				
水文学Ⅰ（水循環論）	2, 3, 4前	2	1	1				教員の昇任による変更(27)
水文学Ⅱ（水環境論）	2, 3, 4後	2	1	1				教員の昇任による変更(27)
				1				
観光地域論	2, 3, 4前	2		1				担当教員の追加(26)
経済地理学	未開講 2-3, 4後	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
文化地理学	2, 3, 4後	2	1					
日本地誌	2, 3, 4前	2	1					
世界地誌	未開講 2-3, 4前	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
	2, 3, 4前							
比較民俗文化論	2-3, 4後	2		1				カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
環境データ分析	2, 3, 4後	2		1				
	3, 4前							
環境放射線学	2-3, 4前	2						兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
	3, 4前							
環境化学	2-3, 4前	2						兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
	3, 4前							
気象学概論	2-3, 4前	2						兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
	2, 3, 4後							
自然災害と防災教育	2-3, 4前	2						兼1 カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27) 担当教員の追加及び教員の昇任による変更(27)
地域環境基礎実験実習Ⅰ	2前	2	1	3		1		共同
			2	2		1		担当教員の追加及び教員の昇任による変更(27)
地域環境基礎実験実習Ⅱ	2後	2	1	3				共同
			2	2				教員の昇任による変更(27)
地域統計分析演習	2後	2	1	3				おんパス
			2	2		1		担当教員の追加及び教員の昇任による変更(27)

地域環境野外実験Ⅰ	2通		2	1	3			共同, 集中
地域環境野外実験Ⅱ	未開講 2-3,4通		2		1			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため, 27年度未開講(27) 隔年(27) 集中
地域環境野外実験Ⅲ	2,3,4前 2-3,4通		2		1			カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27) 集中
地域環境野外実験Ⅳ	未開講 2-3,4通		2	1	4			教員の昇任による変更(27) 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため, 27年度未開講(27) 隔年(27) 集中
地域環境野外実験Ⅴ	2,3,4通		2	1	1			担当教員の追加(27) 集中
地域環境野外実験Ⅵ	未開講 2-3,4後		2	1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため, 27年度未開講(27) 隔年(27)
環境分析化学実験	3,4後 2-3,4後		2					兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
防災教育実習	2-3,4後		2					兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
人間社会と生物学	3後 3,4後		2					兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
生物学フィールド実習	2-3,4後		2					兼2 共同
地域社会学演習	3前		2		1			
生態学演習	3前		2		1			
地理学演習	3前		2	1	1			共同
インターネット活用技法Ⅰ	2,3,4前 3,4前		2		1			
インターネット活用技法Ⅱ	2-3,4前 2,3,4後		2		1			時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
プログラミング入門	2-3,4前 2,3,4後		2		1			カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
プログラミング入門演習	2-3,4前 3,4前		2		1			カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
プログラミング応用	2-3,4前 3,4前		2	1				時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
地域データベース論	2-3,4前 2,3,4後		2	1				時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
マルチメディア技法Ⅰ	2-3,4前 3,4後		2	1				カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
マルチメディア技法Ⅱ	2-3,4後		2	1				時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
環境データ分析	2,3,4後		2		1			
コンピュータ支援デザイン演習	2,3,4後 3,4後		2					兼1
情報デザイン演習	2-3,4後		2					兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
臨床心理学概論	2,3,4前 1前		2	1	2			
基礎心理学Ⅰ	2前		2					兼3 時間割編成を考慮して配当年次を変更(26)

基礎心理学Ⅱ	1, 2, 3後 2-3, 4後	2						兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(26)
心理統計法	未開講 2-3, 4前	2						兼1 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27) 兼中 担当教員の変更(26)
心理学研究法演習Ⅰ	3, 4通	2	1					※実習
心理学研究法演習Ⅱ	3, 4通	2		1				※実習
心理学研究法演習Ⅲ	3, 4通	2		1				※実習
教育心理学実習Ⅰ	2, 3, 4前 3, 4前	2						兼1 兼中 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
教育心理学実習Ⅱ	2-3, 4前 4前	2						兼1 兼中 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
教育心理学実習Ⅲ	2-3, 4前	2						兼1 兼中
心理学基礎実験	2, 3, 4通	2						兼4
心理学特殊講義Ⅰ(視覚情報処理)	2, 3, 4後	2						兼1
心理学特殊講義Ⅱ(家族心理学)	2, 3, 4前	2	1					
心理学特殊講義Ⅲ(生理心理学)	未開講 2-3, 4後	2						兼1 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
心理学特殊講義Ⅳ(人間関係の心理学)	未開講 2-3, 4後	2						兼1 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
心理学特殊講義Ⅴ(対人理解の心理学)	2, 3, 4後 2, 3, 4前	2		1				
心理学特殊講義Ⅵ(心理相談の理論と方法)	2-3, 4後	2						兼1 カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
心理学特殊講義Ⅶ(社会行動の生理と心理)	2, 3, 4後	2						兼1
生徒の理解と指導	2, 3, 4前	2		1				
心理学特別演習(臨床ケーススタディ)	未開講 2-3, 4後 4前	2						兼1 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
精神医学	2-3, 4前	2						兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
日本古代中世史演習Ⅰ	2, 3, 4前	2		1				
日本古代中世史演習Ⅱ	2, 3, 4後	2		1				
日本古代中世史演習Ⅲ	未開講 2-3, 4前	2		1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
日本古代中世史演習Ⅳ	未開講 2-3, 4後	2		1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
日本史実習Ⅰ	2, 3, 4前	2		1				※講義
日本史実習Ⅱ	未開講 2-3, 4前	2		1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27) ※講義
日本史実習Ⅲ	2, 3, 4前	2		1				※講義
日本史実習Ⅳ	未開講 2-3, 4前	2		1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27) ※講義
日本近世近代史演習Ⅰ	2, 3, 4前	2		1				
日本近世近代史演習Ⅱ	2, 3, 4後	2		1				

日本近世近代史演習Ⅲ	未開講 2-3,4前	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
日本近世近代史演習Ⅳ	未開講 2-3,4後	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
日本文学論Ⅰ(古典文学)	2,3,4前	2	1					
日本文学論Ⅱ(古典文学)	未開講 2-3,4前	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
日本文学論Ⅲ(近代文学)	2,3,4前	2						兼1
日本文学論Ⅳ(近代文学)	未開講 2-3,4前	2						兼1
	2,3,4後							
日本文学論演習Ⅰ(古典文学)	2-3,4前	2	1					カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
日本文学論演習Ⅱ(古典文学)	未開講 2-3,4前	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
日本文学論演習Ⅲ(近代文学)	2,3,4前	2						兼1
日本文学論演習Ⅳ(近代文学)	2,3,4後	2						兼1
日本文学論演習Ⅴ(近代文学)	未開講 2-3,4前	2						兼1
日本文学論演習Ⅵ(近代文学)	未開講 2-3,4後	2						兼1
日本語Ⅰ	2,3,4後	2	1					
日本語Ⅱ	未開講 2-3,4後	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
日本語学演習Ⅰ	2,3,4前	2	1					
日本語学演習Ⅱ	2,3,4後	2	1					
日本語学演習Ⅲ	未開講 2-3,4前	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
日本語学演習Ⅳ	未開講 2-3,4後	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
美術文化論Ⅱ	2,3,4後	2				1		兼1
音楽史Ⅱ	未開講 2-3,4後	2				1		教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27) 担当教員の変更(26)
								兼1
音楽学演習	未開講 2-3,4後	2				1		教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27) 担当教員の変更(26)
東洋史Ⅰ	2,3,4前	2				1		
東洋史Ⅱ	2,3,4後	2				1		
東洋史Ⅲ	未開講 2-3,4前	2				1		教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)

東洋史Ⅳ	未開講 2-3,4後	2	1			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
アジア歴史文化論演習Ⅰ	2,3,4前	2	1			
アジア歴史文化論演習Ⅱ	2,3,4後	2	1			
アジア歴史文化論演習Ⅲ	未開講 2-3,4前	2	1			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
アジア歴史文化論演習Ⅳ	未開講 2-3,4後	2	1			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
					1	
中国社会文化論Ⅰ	未開講 2-3,4前	2	4			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27) 担当教員の変更(26)
					1	
中国社会文化論Ⅱ	未開講 2-3,4後	2	4			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27) 担当教員の変更(26)
					1	
中国社会文化論Ⅲ	2,3,4前	2	4			担当教員の変更(26)
					1	
中国社会文化論Ⅳ	2,3,4後	2	4			担当教員の変更(26)
					1	
中国社会文化論演習Ⅰ	2,3,4前	2	4			担当教員の変更(26)
					1	
中国社会文化論演習Ⅱ	2,3,4後	2	4			担当教員の変更(26)
					1	
中国社会文化論演習Ⅲ	2,3,4前	2	4			担当教員の変更(26)
					1	
中国社会文化論演習Ⅳ	2,3,4後	2	4			担当教員の変更(26)
韓国朝鮮社会論	未開講 2-3,4後	2	1			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
	2,3,4前					
比較民俗文化論	2-3,4後	2	1			カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
韓国朝鮮研究文献講読Ⅰ	2,3,4後	2	1			
韓国朝鮮研究文献講読Ⅱ	未開講 2-3,4後	2	1			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
	2,3,4後					
日韓・日朝関係史Ⅰ	2-3,4前	2	1			カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
日韓・日朝関係史Ⅱ	未開講 2-3,4前	2	1			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)
西洋史文献講読Ⅰ	2,3,4後	2	1			
西洋史文献講読Ⅱ	未開講 2-3,4後	2	1			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27) 隔年(27)

西洋史文献講読Ⅲ	未開講 2-3,4前	2	1	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
西洋史文献講読Ⅳ	未開講 2-3,4前	2	1	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
西洋史演習Ⅰ	2,3,4後	2	1	
西洋史演習Ⅱ	未開講 2-3,4後	2	1	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
現代思想Ⅰ	2,3,4前	2	1	
現代思想Ⅱ	2,3,4後	2	1	
思想演習Ⅰ	3,4後 2-3,4後	2	1	時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
思想演習Ⅱ	4後 2-3,4後	2	1	時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
西洋思想特論(ヘブライズム)	3,4後 2-3,4後	2	1	時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
近現代哲学Ⅰ	2,3,4前 2-3,4後	2	1	カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
近現代哲学Ⅱ	未開講 2-3,4後	2	1	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
比較思想論Ⅰ	2,3,4後	2	1	
比較思想論Ⅱ	未開講 2-3,4後	2	1	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
欧米文化研究Ⅰ	2,3,4前 3,4前	2	1	
欧米文化研究Ⅱ	2-3,4前	2	1	時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
欧米文化研究Ⅲ	2,3,4後	2	1	
欧米文化研究Ⅳ	未開講 2-3,4後	2	1	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
言語文化特論Ⅰ	2,3,4後	2	1	
言語文化特論Ⅱ	未開講 2-3,4後 3,4前	2	1	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
言語文化特論Ⅲ	2-3,4前	2	1	時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
英文学概論	2,3,4前	2		兼1
英語圏文化特論	2,3,4後 3,4前	2		兼1
英語圏文化演習	2-3,4前	2		兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
比較文化概論	2,3,4後 3,4前	2		兼1
北米文化史演習	2-3,4前	2		兼1 時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
北米文学概論	2,3,4後	2		兼1
表象文化特論Ⅰ	2,3,4前	2	1	

表象文化特論Ⅱ	未開講 2,3,4後 3,4後	2	1					教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
表象文化特論Ⅲ	2,3,4後	2		1				時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
映像文化特論	2,3,4後	2	1					
美術文化論Ⅰ	未開講 2,3,4後 3,4前	2		1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
造形文化論	2,3,4前	2		1				時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
音楽史Ⅰ	2,3,4前	2		4				兼1 担当教員の変更(26)
民族音楽学	2,3,4前	2		4				兼1 担当教員の変更(26)
言語学特論Ⅰ	2,3,4後	2	1					
言語学特論Ⅱ	未開講 2,3,4後 3,4前	2		1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
言語学研究	2,3,4前	2		1				時間割編成を考慮して配当年次を変更(27)
言語コミュニケーション特論Ⅰ	2,3,4後	2		1				
言語コミュニケーション特論Ⅱ	未開講 2,3,4後	2		1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
言語コミュニケーション研究	2,3,4前	2		1				
音楽史Ⅰ	2,3,4前	2		4				兼1 担当教員の変更(26)
音楽史Ⅱ	未開講 2,3,4後 2,3,4後	2		4				兼1 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27) 担当教員の変更(26)
民族音楽学	2,3,4前	2		4				兼1 カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27) 担当教員の変更(26)
音楽学演習	未開講 2,3,4後	2		4				兼1 教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27) 担当教員の変更(26)
音楽通論(作曲法及び編曲法を含む)	2,3,4前	2						兼1
音楽社会学	2,3,4後	2		1				
指揮法	3,4前 2,3,4前	2						兼1
基礎声楽	2,3,4後	2						兼1 カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更(27)
声楽アンサンブル	3,4前	2						兼1
ピアノⅠ	2,3,4前	2						兼1
美術文化論Ⅰ	未開講 2,3,4後	2		1				教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講(27)隔年(27)
美術文化論Ⅱ	2,3,4後	2		1				

造形文化論	3, 4前 2-3, 4前	2			1			時間割編成を考慮して配当年次を変更 (27)
美術演習	3, 4後 2-3, 4後	2			1			時間割編成を考慮して配当年次を変更 (27)
北欧工芸論	未開講 2-3, 4前	2					兼1	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講 (27) 隔年 (27)
地域工芸比較演習	2, 3, 4後	2					兼1	
工芸材料演習	未開講 2-3, 4後	2					兼1	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講 (27) 隔年 (27)
構成・デザイン論	2, 3, 4前	2					兼1	
構成・基礎造形 I	1, 2, 3, 4後 2-3, 4後	2					兼1	時間割編成を考慮して配当年次を変更 (26)
グラフィックデザイン演習 I	2, 3, 4前 2-3, 4後	2					兼1	カリキュラムの調整を行ったため開講期を変更 (27)
表象文化特論 I	2, 3, 4前	2			1			
表象文化特論 II	未開講 2-3, 4後	2			1			教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため、27年度未開講 (27) 隔年 (27)
表象文化特論 III	3, 4後 2-3, 4後	2			1			時間割編成を考慮して配当年次を変更 (27)
映像文化特論	2, 3, 4後	2			1			
英語圏文化演習	3, 4前 2-3, 4前	2					兼1	時間割編成を考慮して配当年次を変更 (27)
地域連携プロジェクトゼミ	3通	2		16	22	5		教員の採用・退職・昇任による変更 (27)
特定地域研究ゼミ	3通	2		16	22	5		共同、※演習 教員の採用・退職による変更 (26) 教員の採用・退職・昇任による変更 (27)
卒業研究プレゼミ	3後	2		16	22	5		教員の採用・退職による変更 (26) 教員の採用・退職・昇任による変更 (27)
卒業研究	4通	6		16	22	5		教員の採用・退職による変更 (26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 9	科目 507	科目 0	科目 516	科目 9 [0]	科目 523 [16]	科目 0 [0]	科目 532 [16]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	現代社会と法	2	1, 2前	一般	選択	担当教員退職のため。代替措置なし。
2	心理学 I	2	1前	一般	選択	担当教員が海外派遣中のため。代替措置なし。
3	芸術と文化 I	2	1, 2前	一般	選択	担当教員退職のため。代替措置なし。
4	芸術と文化 II	2	1, 2後	一般	選択	担当教員退職のため。代替措置なし。
5	欧米の歴史	2	1, 2前	一般	選択	担当教員が海外派遣中のため。代替措置なし。
6	障害と共生 I	2	1, 2前	一般	選択	カリキュラム編成調整を行ったため。代替措置なし。
7	多文化コミュニケーション入門 I	2	1, 2前	一般	選択	担当教員が育児休業取得のため。代替措置なし。
8	衣生活の科学	2	1, 2前	一般	選択	担当教員退職のため。代替措置なし。
9	キャリアデザイン総論	2	2後	一般	選択	担当教員退職のため。代替措置なし。
10	臨床心理学外国語文献演習	1	2, 3前	一般	選択	担当教員退職のため。代替措置なし。
11	生理心理学外国語文献講読 I	1	2, 3, 4前	一般	選択	担当教員が海外派遣中のため。代替措置なし。
12	生理心理学外国語文献講読 II	1	2, 3, 4前	一般	選択	担当教員が海外派遣中のため。代替措置なし。
13	地方自治法	2	2, 3前	専門	選択	担当教員退職のため。代替措置なし。
14	住環境科学 I (環境共生住居論)	2	2, 3前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
15	衣生活消費論	2	2, 3後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
16	地域マーケティング論	2	2, 3後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
17	言語文化論 I	2	2, 3後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
18	行政法 I	2	2, 3, 4前	専門	選択	担当教員退職のため。代替措置なし。
19	行政法 II	2	2, 3, 4後	専門	選択	担当教員退職のため。代替措置なし。
20	衣生活実践論	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
21	衣生活実験・演習 I (素材・物性実験)	2	2, 3後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
22	経済地理学	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
23	世界地誌	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
24	地域環境野外実験 II	2	2, 3, 4通	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
25	地域環境野外実験 IV	2	2, 3, 4通	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
26	地域環境野外実験 VI	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
27	心理統計法	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
28	心理学特殊講義 III (生理心理学)	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
29	心理学特殊講義 IV (人間関係の心理学)	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
30	心理学特別演習 (臨床ケーススタディ)	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
31	日本古代中世史演習 III	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
32	日本古代中世史演習 IV	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
33	日本史実習 II	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
34	日本史実習 IV	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。

35	日本近世近代史演習Ⅲ	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
36	日本近世近代史演習Ⅳ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
37	日本文学論Ⅱ（古典文学）	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
38	日本文学論Ⅳ（近代文学）	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
39	日本文学論演習Ⅱ（古典文学）	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
40	日本文学論演習Ⅴ（近代文学）	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
41	日本文学論演習Ⅵ（近代文学）	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
42	日本語学Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
43	日本語学演習Ⅲ	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
44	日本語学演習Ⅳ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
45	音楽史Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
46	音楽学演習	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
47	東洋史Ⅲ	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
48	東洋史Ⅳ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
49	アジア歴史文化論演習Ⅲ	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
50	アジア歴史文化論演習Ⅳ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
51	中国社会文化論Ⅰ	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
52	中国社会文化論Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
53	韓国朝鮮社会論	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
54	韓国朝鮮研究文献講読Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
55	日韓・日朝関係史Ⅱ	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
56	西洋史文献講読Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
57	西洋史文献講読Ⅲ	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
58	西洋史文献講読Ⅳ	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
59	西洋史演習Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
60	近現代哲学Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
61	比較思想論Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
62	欧米文化研究Ⅳ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
63	言語文化特論Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
64	表象文化特論Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
65	美術文化論Ⅰ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
66	言語学特論Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
67	言語コミュニケーション特論Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
68	音楽史Ⅱ	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。

69	音楽学演習	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
70	美術文化論 I	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
71	北欧工芸論	2	2, 3, 4前	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
72	工芸材料演習	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。
73	表象文化特論 II	2	2, 3, 4後	専門	選択	教育的配慮によるクラス規模維持のため隔年開講としたため。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	廃止科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当教員の退職等により、やむなく未開講となったが、選択科目であるため他の科目を履修することで教育上特に問題がなく、学生への影響はないものとする。

また、平成26年度に1年生を対象に、志望コースや選択予定領域の調査を行なった結果に基づきシミュレーションを行なった結果、討論やグループワークなどを効果的に行なうためのクラス規模を維持するためには、年間開設科目数を一定数に制限する必要が生じた。そこで、配当年次が「2・3・4」または「2・3」となっている専門の選択科目について、配当年次に幅があることから、十分な履修機会が保証されており不利益は生じないこと、教育的効果という点からみれば、クラスサイズを維持することがより重要であることから、隔年開講の導入による年間科目数の制限というカリキュラム調整を行なった。なお、学生にはシラバスおよび開設講義一覧でこの措置については周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.14}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	該当なし		m ²	m ²		
	小 計	m ²			m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)						
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋 田 大 学								備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定	容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人	人		倍			
国際資源学部 国際資源学科	4	120	—	—	240	学士 (資源学)	1.03	平成26	秋田市手形学園町1番1号	
教育文化学部 学校教育課程	4	110	—	—	420	学士 (学校教育)	1.04	平成10	秋田市手形学園町1番1号	平成26年度入学定員変更
地域文化学科	4	100	—	—	200	学士 (地域文化)	1.02	平成26		平成26年度より 学生募集停止
地域科学課程	4	—	—	—	—	学士 (地域科学)	—	平成10		
国際言語文化課程	4	—	—	—	—	学士 (国際言語文化)	—	平成10		
人間環境課程	4	—	—	—	—	学士 (人間環境)	—	平成10		
医学部 医学科	6	124	2年次 5	—	748	学士 (医学)	1.00	昭和45	秋田市本道一丁目1の1	平成27年度入学定員変更
保健学科	4	106	3年次 14	—	452	学士 (保健学) 学士 (看護学)	1.02	平成14		
理工学部 生命科学科	4	45	—	—	90	学士 (理学)	0.97	平成26	秋田市手形学園町1番1号	
物質科学科	4	110	—	—	220	学士 (理工学)	1.02	平成26		
数理・電気電子情報学科	4	120	—	—	240	学士 (理学)	1.08	平成26		
システムデザイン工学科	4	120	—	—	240	学士 (工学) 学士 (工学)	1.09	平成26		
各学科共通			3年次 12	—	—					
工学資源学部 地球資源学科	4	—	—	—	—	学士 (資源学)	—	平成10	秋田市手形学園町1番1号	平成26年度より 学生募集停止
環境応用化学科	4	—	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20		
生命化学科	4	—	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20		
材料工学科	4	—	—	—	—	学士 (理学)	—	平成10		
情報工学科	4	—	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10		
機械工学科	4	—	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10		
電気電子工学科	4	—	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10		
土木環境工学科	4	—	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10		
各学科共通			3年次 12	—	24					

大学院教育学研究科 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号	
学校教育専攻	2	13	—	26	修士 (教育学)	0.72	平成元		
教科教育専攻	2	31	—	62	修士 (教育学)	0.60	平成元		
大学院医学系研究科 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	—	10	修士 (医科学)	0.40	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	—	24	修士 (看護学) 修士 (リハビリテーション科学)	0.99	平成19		
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	—	9	博士 (保健学)	1.00	平成21		
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士 (医学)	1.01	平成19		
大学院工学資源学研究科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
地球資源学専攻	2	17	—	34	修士 (工学) 修士 (資源学)	1.08	平成14		
環境応用化学専攻	2	20	—	40	修士 (工学)	1.25	平成24		
生命科学専攻	2	12	—	24	修士 (理学)	1.08	平成24		
材料工学専攻	2	23	—	46	修士 (工学)	1.15	平成14		
情報工学専攻	2	16	—	32	修士 (工学)	1.00	平成14		
機械工学専攻	2	26	—	52	修士 (工学)	1.11	平成14		
電気電子工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.76	平成14		
土木環境工学専攻	2	11	—	22	修士 (工学)	0.58	平成14		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.78	平成24		
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	4	—	12	博士 (工学) 博士 (資源学)	1.58	平成14		
生命科学専攻	3	3	—	6	博士 (理学)	0.66	平成26		
機能物質工学専攻	3	3	—	10	博士 (工学)	0.61	平成14		
生産・建設工学専攻	3	3	—	10	博士 (工学)	0.38	平成14		
電気電子情報 システム工学専攻	3	3	—	10	博士 (工学)	0.61	平成14		
									秋田県立大学との入学定員の合計は17名、収容定員は34名。
									平成26年度 入学定員変更

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育文化学部 地域文化学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				該当なし						

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見個いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前個い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
16	22	1	0	39	17	16	5	0	38				
(16)	(22)	(1)	(0)	(39)	[1]	[△6]	[4]	[0]	[△1]	65歳	1名	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			該当なし
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<教育文化学部 地域文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位、	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目（1科）を追加。（別添〇「新旧対象表」参照）
② 施設・設備 a 講義室〇室（〇㎡） b 自習室〇室（〇㎡） c 図書〇〇冊	環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋（〇㎡）増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等	該当なし
② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況	
③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見	
.....	
② 自己点検・評価報告書	
a 公表（予定）時期	該当なし
記入例 ・平成27年5月1日 公表	
b 公表方法	
記入例 ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成27年8月末を予定）	
③ 認証評価を受ける計画	
記入例 ・平成27年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中	

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成27年10月 1日)